

平成 29 年度事業報告書

公益財団法人 服部植物研究所

事業内容

1. 公益目的事業

1. 1 研究事業

I. 蘚苔・地衣類の研究

1. 蘚類の分類・分布について研究する。

- (1) ホウオウゴケ属 *Fissidens* (ホウオウゴケ科) の分子系統学的研究の成果を学会で発表し、論文を投稿した。(井上：学会発表国内 1 件)
- (2) イクビゴケ属 *Diphygium* (イクビゴケ科) の分子系統学的研究を行った。
- (3) センボンゴケ科 *Pottiaceae* の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(井上：論文 1 件、学会発表国際 1 件)

2. 苔類の分類・分布について研究する。

- (1) ケビラゴケ科 *Radulaceae* の *Dichotomae* 節内の種の及びシゲリケビラゴケ *Radula javanica* に関する分類学的研究を継続して行った。
- (2) ムクムクゴケ科 *Trichocoleaceae* の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(片桐：論文 1 件、学会発表国際 1 件)
- (3) ヤクシマアミバゴケ *Hattoria yakushimensis* (ツボミゴケ科) の系統分類学的研究を行った。(片桐：学会発表国内 1 件)

3. 地衣類の分類・形態、化学成分、生態、分布について研究する。

- (1) 「日本地衣類誌」の編纂準備としてイワノリ科の検討を進めた。属としてまとめるには至らなかったが、アオキノリ属の 1 新種を記載した。(原田：論文 1 件)
 - (2) 化学分類ならびに化学分類学的手法について共同研究を行い、TLC の同定法のマニュアル原案を作成した。(未発表)
 - (3) 中国雲南省の地衣類については、リトマスゴケ科と *Gloeoheppiaceae* について新知見を報告した。(原田：論文 2 件)
 - (4) その他、日本及び周辺地域の地衣類の分類・多様性を解明する中で、様々な科の計 5 新種を記載するとともに、5 種を日本新産として報告、更に台湾からアジア新産のアオキノリ属の 1 種を報告した。(原田：論文 10 件)
 - (5) 分子系統学的研究を共同研究として実施し、日本産スミイボゴケ属 2 新種を記載するとともに、日本新産の 1 種について分類学的実体ならびに系統関係を明らかにした。(原田：論文 2 件)
 - (6) 日本産地衣類の遺伝的多様性に関する研究では、海岸生地衣類に関する調査を実施し、実験用の資料を収集した。
4. 蘚苔類の古生物学的研究を進め、研究成果を発表した。(片桐：論文 1 件、学会発表国内 1 件)
 5. 日本及び周辺地域の蘚苔類に関する多様性・系統関係・分布を研究し、成果を発表した。(片桐：論文 2 件、学会発表国内 1 件；井上：学会発表国際 1 件、学会発表国内 2 件；山田：論文 1 件)
 6. 環境省レッドリスト作成に関連した絶滅危惧蘚苔類の調査を屋久島行った。(平成 29 年 10 月)
 7. ヘルシンキ大学 (フィンランド) で蘚苔類標本の調査・研究を行った。(平成 29 年 10 月)
 8. 研究所の若手研究員が日本蘚苔類学会第 46 回群馬大会において日本蘚苔類学会奨励賞を受賞した。(平成 29 年 8 月)

II. 蘚苔・地衣類のデータベース作成

1. 蘚苔類タイプ標本 (約 4,100 点) のデータベース作成を行い、当初の予定通り約 1,000 点の登録作業を行った。今後 3 年間で未登録のタイプ標本約 3,100 点の登録を行う予定である。
2. 日本産苔類のチェックリストの作成を継続して行った。
3. 日本産地衣類のチェックリストについては、文献を収集し検討した結果、大幅な改訂が必要であるとの結論を得た。これにより、改訂の準備に着手した。
4. 日本の地衣学に関する文献目録の補遺については、2013 年分発行分までを収集・検討した結果をまとめ、投稿した。
5. 島田分室所蔵標本のデータベース化を継続的に行った。

III. 資料の収集・整理, 及び普及活動

1. 現地調査・交換・受入により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集した。
 - (1) 蘚苔類の標本 7,400 点 (国内 4,222 点、外国 3,178 点) を収集した。
 - (2) 購入・交換により蘚苔・地衣類関係の文献 159 点 (購入 43 点、交換 116 点) を入手した。
2. 蘚苔・地衣類関係の資料 (標本、図書、別刷など) の整理を続けた。
 - (1) 本年度収集された標本 7,400 点の仕分けを行った。
 - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを続けた。
 - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを引き続き行った。
 - (4) 蘚苔類の所蔵タイプ標本の仕分け見直し及び標本棚の移動を行った。
 - (5) 国内及び外国産蘚苔類標本の整理・まとめ及び標本移動を行った。
 - (6) 研究論文原稿蔵書の整理を行った。
 - (7) 高知分室の標本の整理を行い、十文字資料館に移動した。
 - (8) 岡崎分室の廃止に伴い岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行った。
 - (9) 島田分室の標本整理を行った。
3. 内外の研究者の要請に応じ、標本の貸出 (国内 6 件 46 点、国外 14 件 73 点) を行った。
4. 内外の研究者及び同好者の要請に応じ、蘚苔・地衣類標本の同定を行った。
5. 自然保護及び蘚苔・地衣類を対象とした学術研究活動の発展に貢献するため、自然観察会、講演会、その他の普及活動を行った。
 - (1) 平成29年5月 宮崎県立日南高等学校「HATTORI学：講演会」(宮崎県日南市) 参加者約70名
 - (2) 平成29年5月 おおの自然観察の森・「野山で目につくコケの観察会」(広島県廿日市市) 参加者約20名
 - (3) 平成29年6月 岐阜県立不破高等学校の教員・生徒と「南宮山の植物調査」(岐阜県不破郡) 参加者12名
 - (4) 平成29年6月 三重県立熊野古道センター熊野古道自然学校「コケの観察会～ミクロの世界をのぞいてみよう～」(三重県尾鷲市) 参加者20名
 - (5) 平成29年7月 日南市社会福祉協議会「コケ観察会」(宮崎県日南市) 参加者7名
 - (6) 平成29年10月 日南ロータリークラブ例会・講演会「コケの世界」(宮崎県日南市) 参加者28名
 - (7) 平成29年10月 宮崎大学大学院農学研究科「服部植物研究所における遺伝資源についての学外体験学習」(宮崎県日南市) 参加者15名
 - (8) 平成29年10月 宮島弥山を守る会「宮島の植物観察会 コケ植物の基本」(広島県廿日市市) 参加者約20名
 - (9) 平成29年11月 飫肥城下町保存会「秋のコケ観察会」(宮崎県日南市) 参加者25名
 - (10) 平成29年11月 日南商工会議所会員交流会・講演会「あなたの知らないコケの世界」(宮崎県日南市) 参加者約70名
 - (11) 平成30年3月 NPO法人ごんはる「猪八重溪谷のコケ観察」(宮崎県日南市) 参加者10名
 - (12) 平成30年3月 日南市「伝統的建造物群保存地区に関するシンポジウムDENKEN TALKS ～飫肥のまちなみの可能性を考える～ 飫肥城下文化財を活用した観光まちづくり事業協議会 講演会」(宮崎県日南市) 参加者約30名
 - (13) 平成30年3月 飫肥城下町保存会「春のコケ観察会」(宮崎県日南市) 参加者14名
 - (14) 各種メディアへの対応を行った。内訳はテレビ6件、ラジオ1件、雑誌8件、新聞5件、ウェブメディア1件であった。
6. 研究活動の充実・発展及び社会に開かれた研究所として市民の生涯学習活動を支援する目的で、一般より市民研究員 (2 名) を受け入れ、所属研究員と協力して蘚苔類に関する調査研究を行った。
7. 蘚苔・地衣類学の発展及び服部植物研究所の研究活動に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示・説明を行った。年間の入場者数は 3,160 人であった。
8. 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行った。
9. ホームページ (日本語版・英語版) の更なる充実を図り、国内外の研究者及び一般の方に向けて情報を発信した。アクセス数は 13,037 であった。

10. 若手研究者が当研究所で研究を行うための旅費等の補助を行った。(4名6回)
11. 資料へのアクセスや研究への利用状況情報把握を行った。
 - (1) J-STAGE に掲載されている Hattoria へのアクセス数は 2,272、論文 PDF のダウンロード数は 3,664 であった。
 - (2) 植物分類学に関連する主要な学術専門誌に掲載された論文のうち、研究所が発行した雑誌及び書籍が引用されている論文は 82 編、研究所の標本が引用されている論文は 8 編であった。

IV. 研究成果の出版と販売

1. Hattoria No. 9 の編集作業を行った。
2. Hattoria バックナンバー (No. 1-8) の J-STAGE 掲載を完了した。
3. 財団法人服部植物研究所報告 (The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) 及び Hattoria バックナンバーの販売を行った。
4. 日本産地衣類に関する HPLC (高速液体クロマトグラフィー) データを出版するために、明治薬科大学の木下薫先生とともに編集作業を進めた。
5. 財団法人服部植物研究所報告 (The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) の電子ジャーナル化及び J-STAGE 掲載の準備を行った。平成 30 年度から継続的に J-STAGE に掲載される予定である。

2. その他の事業

2.1 収益事業

2.1.1 土地の賃貸による収益事業をおこなった。

- 1). 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地をローソンに賃貸した。
- 2). 基本財産である宮崎県日南市飢肥6丁目の宅地を駐車場 (5台/月) として賃貸した。

2.1.2 山林事業

- ・本年度は日南市大字酒谷字本河内和平田の 10 年生杉 (5ha) の除伐作業を実施した。作業は南那珂森林組合に委託し、経費は補助金で充当した。

3. 財団運営

3.1 理事会の開催

- ・平成 29 年 6 月 10 日 (土)
 - 議題・平成 28 年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
 - ・評議員選定委員会へ推薦する評議員候補者承認の件
- ・平成 30 年 3 月 4 日 (日)
 - 議題・平成 30 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) 承認の件

3.2 評議員会の開催

- ・平成 29 年 6 月 25 日 (日)
 - 議題・理事・監事選任の件
 - ・平成 27 年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・平成 30 年 3 月 24 日 (土)
 - 議題・平成 29 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) 承認の件

3.3 評議員選定委員会の開催

- ・平成 29 年 6 月 25 日 (日)
 - 議題・任期満了による評議員の選任について